



株式会社ノリタケカンパニーリミテド 平成27年3月期 決算説明会

説明者

代表取締役社長	小倉 忠
取締役常務執行役員(財務担当)	加藤 博

*本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。

1

本日の内容

1. 平成27年3月期
連結決算の概要
2. 平成28年3月期業績予想
と重点施策

連結子会社

連結 23社 増加4社

増加：則武磨料磨具(蘇州)有限公司

(新規連結によるもの)

日本レヂボン(株)及び同社子会社2社

(公開買付の実施によるもの)

持分法 4社 減少1社

(日本レヂボン(株)の子会社化によるもの)

連結決算の概要

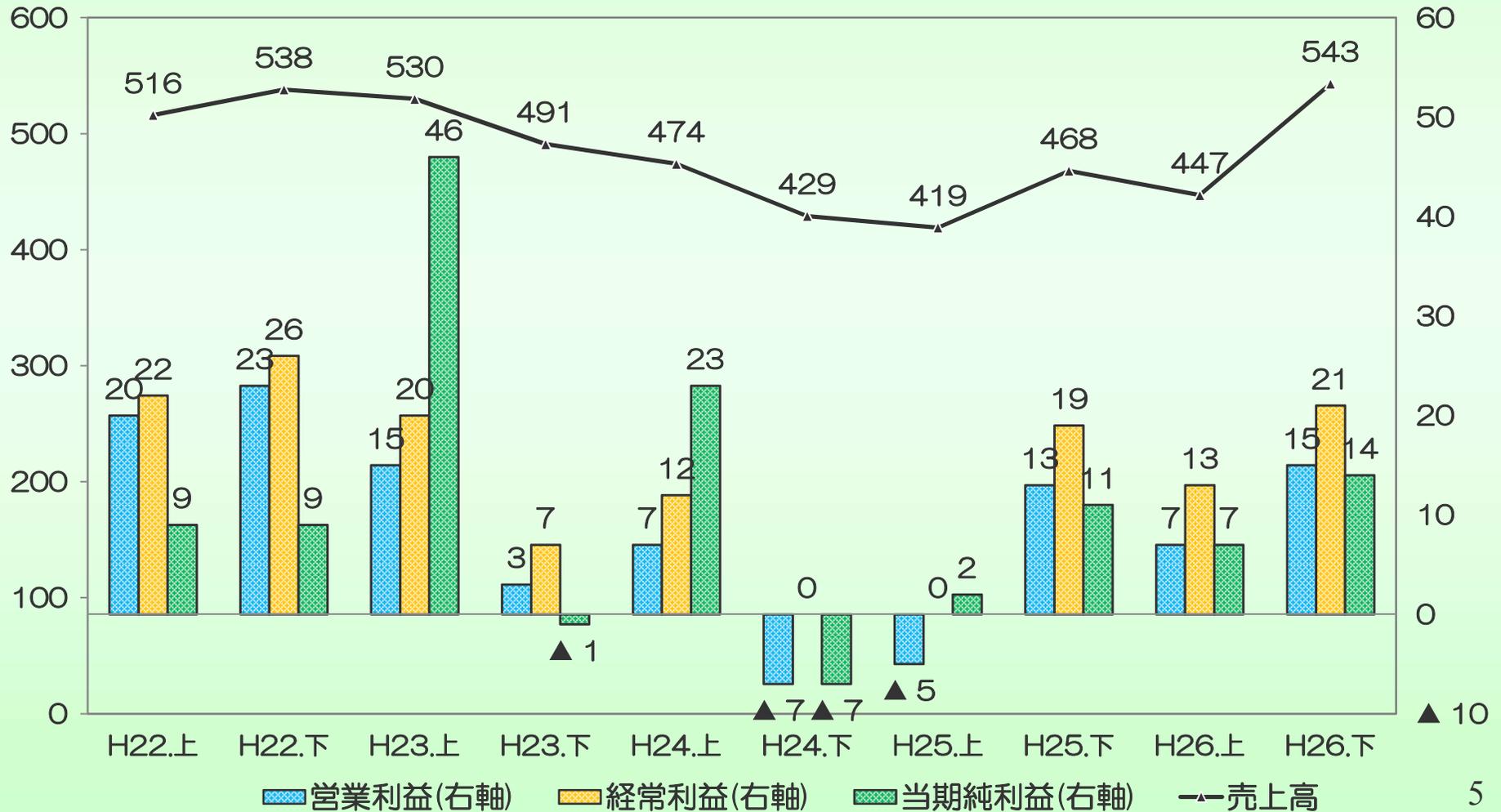
(単位：億円)

	H26/3	H27/3	対前年比
売上高	887	990	+11.7%
営業利益	8	22	+179.3%
経常利益	19	34	+75.6%
当期利益	13	21	+56.8%
1株利益	8.91円	14.34円	
配当	6円	6円	

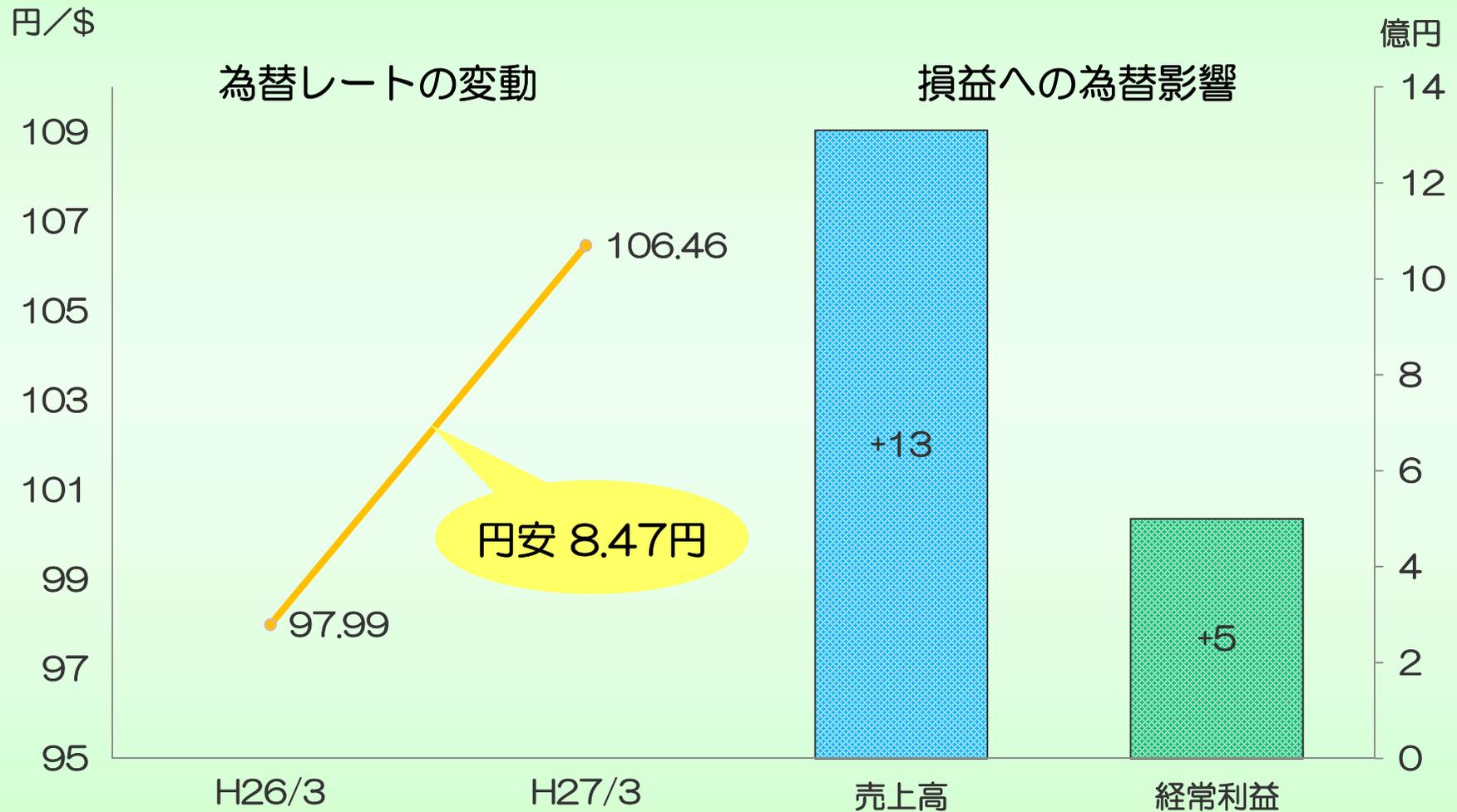
連結損益の推移

単位：億円

単位：億円



為替の影響



連結経常利益の変動要因

H26年3月期 経常利益 19億円



増加要因 26億円

売上高の増加 6億円

合理化改善の効果 3億円

粗利益率の改善 9億円

為替の影響 5億円

新規連結子会社の影響等 3億円

減少要因 11億円

販売費一般管理費の増加 6億円

工場勘定の悪化 5億円

H27年3月期 経常利益 34億円

特別損益

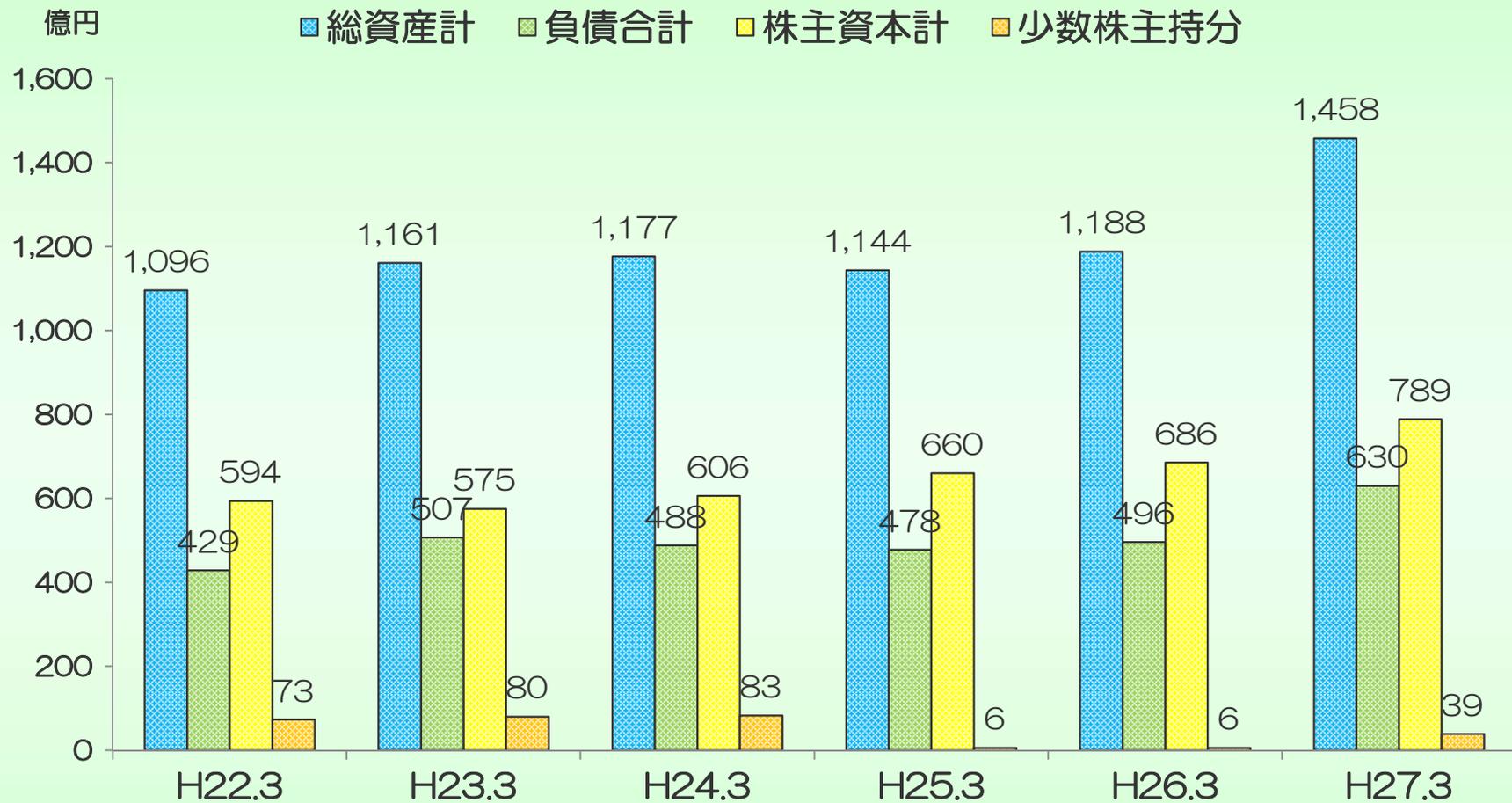
(特別利益)		<u>1.2億円</u>
内訳	段階取得に係る差益	0.8億円
	負ののれん発生益	0.4億円
(特別損失)		<u>△4.1億円</u>
内訳	固定資産処分損	△3.4億円
	固定資産減損損失	△0.7億円

比較貸借対照表

(単位：億円)

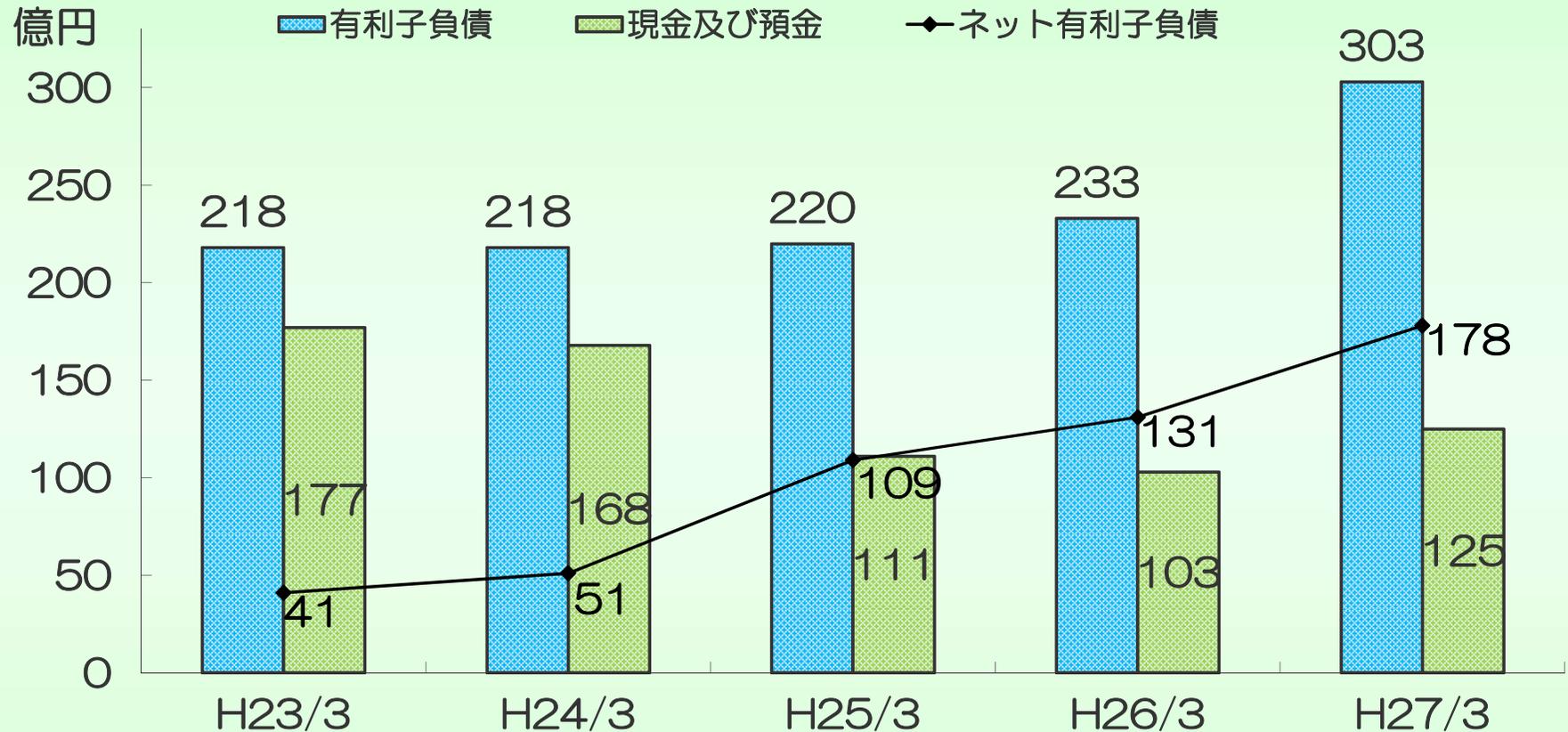
	H26/3	H27/3	増減
総資産	1,188	1,458	+271
流動資産	505	614	+108
固定資産	683	845	+162
負債	496	630	+135
純資産	692	828	+136
(内、少数株主持分)	(6)	(39)	(+33)
一株当り純資産	478円	550円	+72円

貸借対照表残高の推移



	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3
株主資本比率	54.2%	49.5%	51.5%	57.7%	57.8%	54.1%

有利子負債残高



日本レヂボン新規連結の影響：

有利子負債32億円増加、現預金16億円増加

キャッシュフロー

(単位：億円)

	H26/3	H27/3	対前年比
営業活動によるCF	49	51	+2
(内、法人税等)	(△7)	(△12)	(△5)
投資活動によるCF	△46	△63	△17
フリーキャッシュフロー	3	△12	△15
財務活動によるCF	△13	27	+40
(内、長短借入金純増減)	(13)	(36)	(+23)
現金及び同等物残高	87	106	+19

12

連結従業員数

単位：人	H26/3	H27/3	対前年比
国内 正規従業員計	2,689	3,017	+328
海外 正規従業員計	1,397	2,072	+675
正規従業員-合計	4,086	5,089	+1,003
平均臨時雇用者数	743	798	+55

日本レヂボン新規連結の影響：

国内正規従業員 + 368名

海外正規従業員 + 635名

正規従業員合計 +1,003名

平均臨時雇用者 + 75名

セグメント別動向

— 事業概況 —

工業機材

研削砥石 ダイヤ・CBN工具 研磨布紙

セラミック・マテリアル

電子ペースト 厚膜回路基板 石膏・コア・担体
蛍光表示管 セラミック原料 電子部材

エンジニアリング

乾燥・焼成炉 濾過装置 切断装置

食器

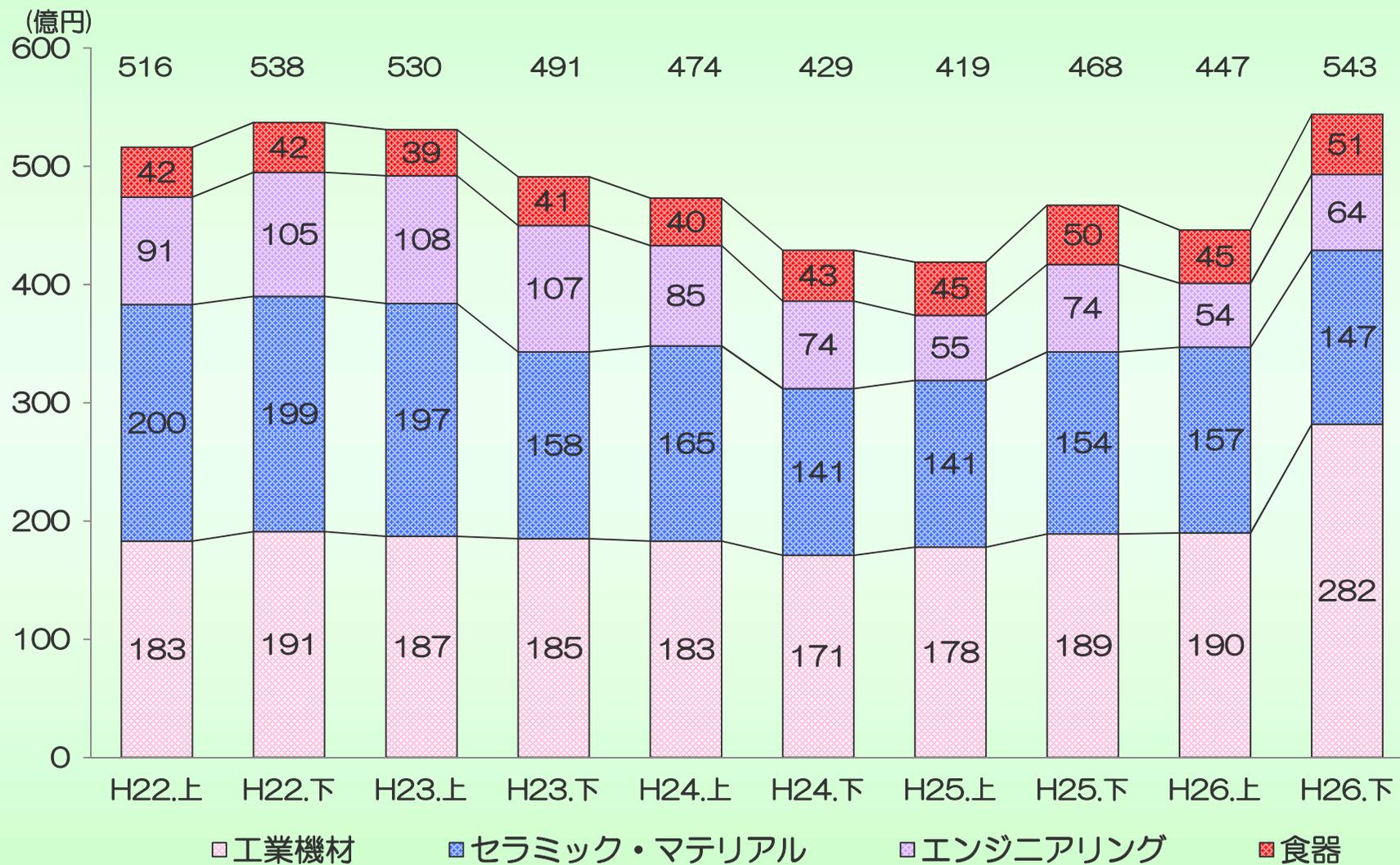
米州 欧亜 国内

セグメント別売上高（前年度比較）

（単位：億円）

	H26/3	H27/3	対前年比
工業機材	367	472	+28.5%
セラミック・マテリアル	295	304	+3.1%
エンジニアリング	130	118	△8.6%
食器	95	96	+0.9%
合計	887	990	11.7%

セグメント別売上高推移



セグメント別営業利益

(単位：億円)

	営業利益		営業利益率	
	H26/3	H27/3	H26/3	H27/3
工業機材	8.3	9.0	2.3%	1.9%
セラミック・マテリアル	6.4	15.4	2.2%	5.1%
エンジニアリング	△4.0	2.8	△3.1%	2.3%
食器	△2.9	△5.3	△3.0%	△5.5%
合計	7.8	21.9	0.9%	2.2%

工業機材事業

(単位：億円)

売上高	H26/3	H27/3	対前年比
研削砥石	145	154	+10
日本レヂボン製品	-	86	86
ダイヤ・CBN工具	120	125	+5
研磨布紙	68	70	+2
関連商品	35	37	+1
合計	367	472	+105

セラミック・マテリアル事業

(単位：億円)

売上高	H26/3	H27/3	対前年比
電子ペースト	77	73	△4
コア・担体	17	14	△4
石膏	22	26	+4
厚膜回路基板	30	29	△1
蛍光表示管	44	45	+2
共立セラミック原料	64	66	+3
共立電子部材	41	50	+9
合計	295	304	+9

19

エンジニアリング事業

(単位：億円)

売上高	H26/3	H27/3	対前年比
乾燥・焼成炉	93	80	△13
濾過装置	11	15	+4
研削機械	16	15	△2
スタティックミキサー	9	9	0
合計	130	118	△11

食器事業

(単位：億円)

売上高	H26/3	H27/3	対前年比
米州	26	28	+2
欧亜	24	24	0
国内	45	43	△2
合計	95	96	+1

日本レヂボン(株) 公開買付の結果

H26年11月 7日 公開買付け開始

H26年12月18日 公開買付け終了

公開買付け応募株数3,554,896株

公開買付け後の当社持分比率75.82%

⇒連結子会社化

H27年 3月26日

東京証券取引所 第2部 上場廃止

当期連結業績への影響：

売上高86億円、営業利益3.4億円 特別利益1.2億円

22

本日の内容

平成28年3月期

連結業績予想

及び重点施策

平成28年3月期 連結業績予想

(単位：億円)

	H27/3 実績			H28/3 予想				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期増減	増減率
売上高	447	543	990	540	560	1,100	+110	+11.1%
営業利益	7	15	22	9	19	28	+6	+27.8%
経常利益	13	21	34	14	24	38	+4	12.1%
特別損益	△1	△2	△3	3	△1	2	+5	-
税前利益	12	19	31	17	23	40	+9	+29.0%
当期利益	7	14	21	10	15	25	+4	21.4%
US\$為替	106.46円			115.0円				

24

セグメント別業績予想

(単位：億円)

工業機材	H27/3	H28/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	472	280	290	570	+98
営業利益	9	5	10	15	+6

- 国内では、自動車、重電、航空機、電子関連分野向けの高度な加工用研削研磨工具の新製品開発を推進する。
- 海外では、タイ国、中国、米国における生産拠点を拡充し、更なる海外市場の開拓と売上げの拡大を図る。

セグメント別業績予想

(単位：億円)

セラミック・マテリアル	H27/3	H28/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	304	145	155	300	△4
営業利益	15	5	9	14	△1

- 電子ペーストは、コンデンサー、太陽光発電、車載向けセンサー用の新製品を開発し、拡販を図る。
- 石膏はアジア市場での拡販、厚膜回路基板はLED等新規市場への拡販を図る。
- 蛍光表示管はモジュール製品、タッチスイッチ等の新商品開発を推進する。
- 共立マテリアル事業は電子関連分野でのシェア拡大と新用途向け製品開発を推進する。

セグメント別業績予想

(単位：億円)

エンジニアリング	H27/3	H28/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	118	65	65	130	12
営業利益	3	1	2	3	0

- 乾燥炉及び焼成炉は、自動車関連向けの新商品開発とLiB材料用や電子部品用の拡販を図る。
- 濾過装置、超鋼丸鋸切断機は自動車関連分野向けに国内及びアジア・北米等の海外市場への拡販を図る。

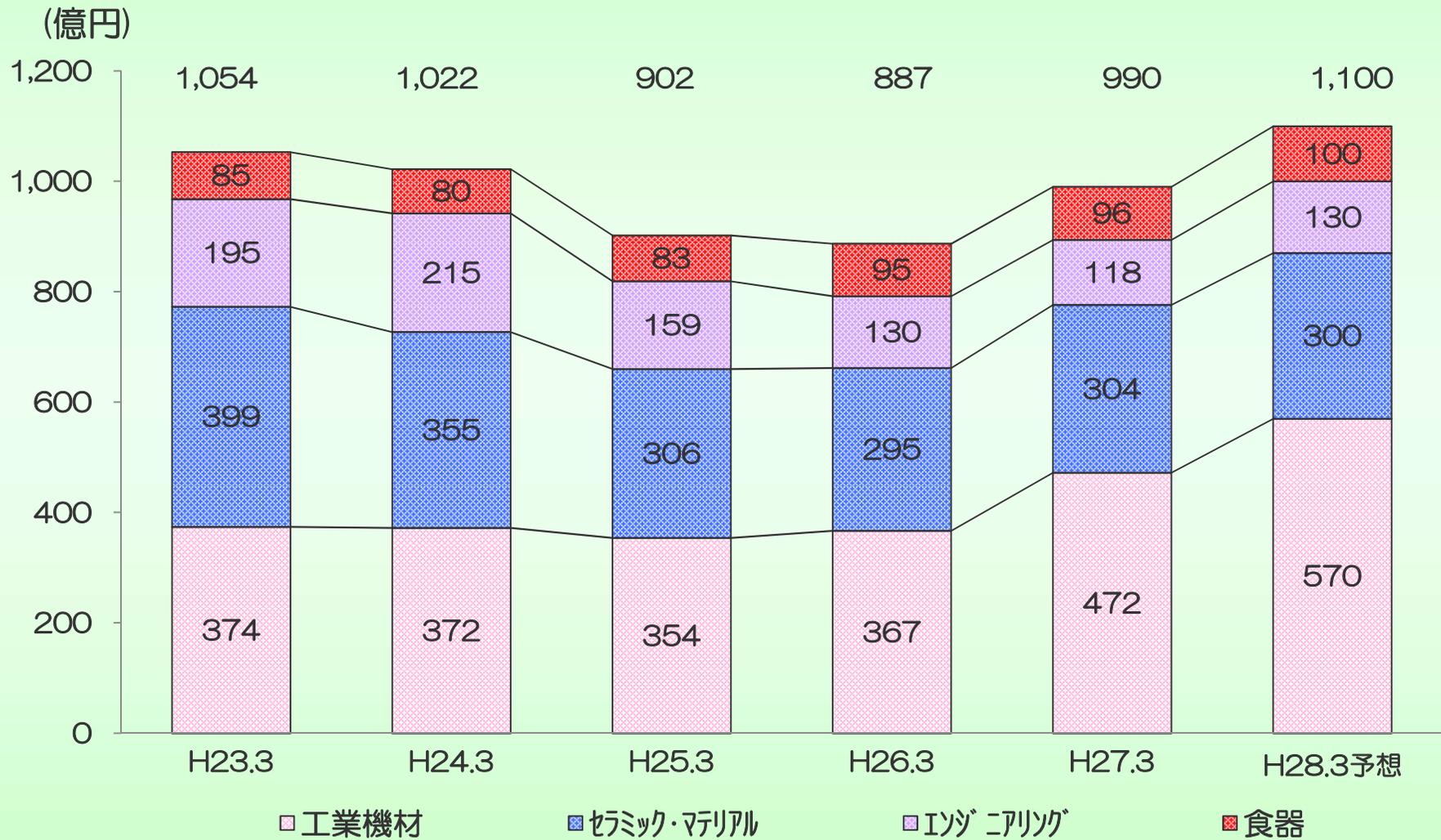
セグメント別業績予想

(単位：億円)

食器	H27/3	H28/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	96	50	50	100	4
営業利益	△5	△2	△2	△4	1

- 国内市場では、上質な日常食器の商品開発を進める。
- 海外市場では、市場に対応した新商品を投入し拡販を図る。

セグメント別売上高推移



第9次中期経営計画と今年度予算

(単位：億円)

	中期経営計画 28年3月期 計画値	本年度 予算	差額	達成率
売上高	1,080	1,100	+20	101.8%
営業利益	30	28	△2	93.3%
経常利益	38	38	0	100.0%
当期純利益	50	25	△25	50.0%

当期の課題と対応策

セグメント別の海外事業比率

金額ベース：％	海外販売		
	26年3月期 実績	27年3月期 実績	28年3月期 予想
工業機材	25	28	29
セラミック・マテリアル	43	46	50
インゾニアソグ	32	33	34
食器	54	56	58
合計	35	37	38

当期の課題と対応策

セグメント別の海外事業比率

金額ベース：％	海外生産		
	26年3月期 実績	27年3月期 実績	28年3月期 予想
工業機材	3	9	13
セラミック・マテリアル	21	23	23
インゾニアソグ	12	13	13
食器	50	55	56
合計	14	17	19